

テーマ	ボランティアの育成と活動支援
-----	----------------

区市町村	西東京市
児童館名	下保谷児童センター
活動名	おにぎりカフェ
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下保谷児童センターを利用する子ども達と地域住民の顔つなぎ ・ 児童センター利用者の世代間交流の促進 ・ 支援や配慮が必要な児童・家庭の早期発見や学習支援、食のサポート
主な対象	幼児親子～高校生年代
活動の経緯 実践内容	<p>《活動の経緯》</p> <p>児童センター運営協議会のメンバーでもある主任児童委員さんより、児童センター施設を活用した活動の提案を受ける。話し合いの結果、おにぎりをきっかけに子ども・子育て中の親がほっと一息つきながら地域の人たちと交流ができるカフェスペースを用意しようというアイデアで協働事業を実施することに決定。地域住民による団体「下保谷児童センター応援団」による「おにぎりカフェ」として平成28年11月 第1回目試行実施</p> <p>《実施内容》</p> <p>「下保谷児童センター応援団」</p> <p>おにぎりの材料や飲み物を準備し、当日おにぎりを握ったり参加者と交流する。材料は社会福祉協議会より助成を受け購入。現在はフードドライブ活動を担う地元団体より米やのりの寄付を受けるようになった。</p> <p>「児童センター」</p> <p>場所や調理道具の提供と広報を担当。当日は児童館利用者とおにぎりカフェスタッフの顔つなぎを行う。特に音楽スタジオやダンススタジオ利用で来館した高校生。</p> <p>また、他のボランティア活動を行っている団体との橋渡しも行う。</p> <p>幾度かの試行を経て、平成29年5月より毎月1回のペースで、曜日を変更しながら午後2時半から5時半頃まで実施</p> <p>《現在までの活動での特記事項》</p> <p>1. スタート当初はおにぎりを握るだけであったが、おもちゃで遊ぶ場所の提供や高校生ボランティアによる英語による紙芝居の読み聞かせ、学習支援など、おにぎりをきっかけとしてカフェに参加した子ども・保護者との幅広い交流を進めている。</p>

	<p>2. フードドライブとの連携により、おにぎりカフェの材料だけでなく集まったお菓子類の提供を受けることもある。</p> <p>3. 2018年12月の読売新聞《地域版》にて活動を紹介される。</p>
効果や課題	<p>《効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回100名を超す参加があり、地域の行事として根付いてきていると感じる。 ・ 参加者だけでなく、ボランティアスタッフの楽しみの一つにもなっている。 <p>「ボランティアの方の声」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人が握ってくれた温かいおにぎりはおいしい、誰かに握ってもらったおにぎりを食べるなんて久しぶり、という声がとても励みになる。 ・ 中高生ともなると地域の大人から話しかけられると煙たがられるかと思っていたが、意外にも皆おしゃべりを楽しんでいるようだ ・ 子育てを終え、日常生活では子ども達の接点はほとんどないので、ここで触れ合うことができ楽しい <p>「参加者の声」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お米がギュッと詰まっていておいしい ・ 人の手で握られたおにぎりだから美味しい ・ 笑顔で迎えてくれるのが嬉しい ・ こんなイベントが児童館にあるなんて知らなかった。また参加したい <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続していくためには安定した材料の供給が欠かせない。 ・ このような支援を必要としている場所はここだけではない。この活動報告がカフェ活動普及の一助になると有難い。

児童館のプロフィール

児童館名	下保谷児童センター
運営主体	公設民営（株式会社こどもの森）
所在地・電話番号	住所：西東京市下保谷4-3-20 電話番号：042-422-8346
開館日・時間・休館日	開館時間 月～土：9時15分～21時 第1・3・5の日：9時30分～17時 休館日 第2・4の日曜日 国民の祝日 年末年始(12/29～1/3)